

## 令和元年度 土壌医検定に関する研修会

- 内容が大幅に充実、只今申込受け中 -

一般財団法人 日本土壌協会

土壌協会では、今年度、主に受験を目的とした「受験者対象の研修会」と土づくりの診断能力向上を目指した「土づくり実践研修会」を行います。

このほか、一定の参加者が見込まれる場合には「出前研修会」を開催します。

今年度はそれぞれの研修会の目的に沿って内容をより充実させております。

なお、この研修会については、どなたでも参加できます。

### 主に受験を目的とした研修会（2～3級レベル、1級レベル）

#### 特色

研修会テキストを受験者にとってより勉強しやすい構成・内容にしました。これに沿って土壌協会の講師から説明がなされます。

#### 1 特に出題頻度の高い項目を表示

(例) 特に出題頻度の高い項目 (2級の化学性の例)

「pH」、「EC」、「窒素」、「塩基飽和度」、「塩基バランス」・・・

#### 2 特に出題頻度の高い項目の出題事項と間違いやすい点の解説と過去の出題例を表示

(例) 特に出題頻度の高い項目の出題事項の間違いやすい点

pH

〈主な出題事項と特に正答率の低い事項〉

- ◆pHで主に出题されている事項は、主な作物別適正pH、pHと土壌病害発生の関係、pHと微量元素等の溶解性の関係、pHを下げる資材、酸性土壌改良を行う場合に影響及ぼす土壌環境要素や改善法の留意点である。
- ◆特に正答率の低いのは、とである。

〈特に正答率の低い過去の問題例〉

問〇・・・ (平成14年度出題) 正答率 38%

.....

#### 3 前年度の主な試験問題からその正解と解説を記述

## 2～3 級レベル受験者対象研修会の日程、内容

- ◆講義は、2 級参考書と 3 級参考書の章別の要点、特に近年出題頻度の高い項目などを整理したテキストに基づき土壌協会の講師が行います。  
( \*2 級受験の方が 3 級の内容も研修受ける理由等としては、2 級試験問題にこれまでも 3 級参考書からも出題されている例がいくつかあることがあげられます。 )
- ◆研修会テキストは、2 級及び 3 級参考書の各章のポイントとなる点をまとめた要点解説、特に出題頻度の高い項目、特に間違いやすい点の解説と過去の出題例、平成 30 年度の主な試験問題の正解及びその解説を内容としています。

### (1) 会場と日程

- ◆今年度は、札幌、東京、大阪と福岡の 4 会場で研修会を行います。

地区	日程	会場	定員(名)
札幌	10 月 15 日 ( 火 ) 9:30 ~ 16:50	札幌コンベンションセンター (札幌市白石区東札幌 6 条 1 丁目 1-1)	60
	10 月 16 日 ( 水 ) 9:30 ~ 16:50		
東京	11 月 9 日 ( 土 ) 9:30 ~ 16:50	東京農業大学 (東京都世田谷区桜丘 1 丁目 1-1)	150
	11 月 10 日 ( 日 ) 9:30 ~ 16:50		
大阪	10 月 28 日 ( 月 ) 9:30 ~ 16:50	エル・おおさか (大阪府中央区北浜東 3-14)	70
	10 月 29 日 ( 火 ) 9:30 ~ 16:50		
福岡	12 月 5 日 ( 木 ) 9:30 ~ 16:50	福岡朝日ビル (福岡市博多区博多駅前 2 丁目 1-1)	80
	12 月 6 日 ( 金 ) 9:30 ~ 16:50		

### (2) 研修基本カリキュラム

- ◆以下のカリキュラムについて 2 日間にわたって行います。

講義内容	備考
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆平成 30 年度土壌医検定試験の概要等</li> <li>◆作物生育に及ぼす栽培環境と土壌環境</li> <li>◆土壌の化学性診断結果と対策 ( )</li> <li>◆土壌の化学性診断結果と対策 ( )</li> <li>◆土壌の物理性診断と対策</li> <li>◆土壌の生物性診断と対策</li> <li>◆土壌・施肥管理の内容と方法</li> <li>◆主要作物の養分特性と施肥管理</li> <li>◆土壌診断の進め方</li> </ul>	<p>講義内容の順番は前後する場合があります。</p> <p>2 日間の時間割等詳細については、参加申込者に対して約 1 週間前までにメールでご連絡します。</p>

### (3) 参加費：

- 1 人 20,000 円 ( 消費税込み )
- 2 日で 1 セットです。

## 1 級レベル受験者対象研修会の日程、内容

- ◆講義は、1 級参考書の章別に要点等を整理したテキストに基づき、土壌協会の講師が行います。
- ◆研修会テキストは、1 級参考書の各章のポイントとなる点をまとめた要点解説、特に出題頻度の高い項目 特に出題頻度の高い項目の出題事項と間違いやすい点の解説と過去の出題例 平成 30 年度の主な試験問題の正解及びその解説を内容としています。

### (1)会場と日程

- ◆東京会場だけの開催になります。

地区	日 程	会 場 名	定員(名)
東京	11 月 18 日(月) 9:30~16:50 11 月 19 日(火) 9:30~16:50	馬事畜産会館 (東京都中央区新川 2 丁目 6-16)	54

### (2)研修基本カリキュラム

- ◆以下のカリキュラムについて 2 日間にわたって行います。

講 義 内 容	備 考
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆平成 30 年度土壌医検定試験の概要等</li> <li>◆土壌の化学性診断結果と対策 (pH、EC、無機態窒素、有効態リン酸)</li> <li>◆土壌の化学性診断結果と対策 (腐植含量、ケイ酸、遊離酸化鉄)</li> <li>◆土壌の化学性診断結果と対策 (塩基類、微量元素)</li> <li>◆土壌の物理性の診断と改善対策</li> <li>◆土壌の生物性の診断と対策</li> <li>◆生育環境の変化による農作物生育障害と対策</li> <li>◆環境負荷軽減とコスト軽減対策</li> <li>◆記述式問題の解説</li> <li>◆業績レポートのまとめ方</li> </ul>	<p>講義内容の順番は前後する場合があります。</p> <p>2 日間の時間割等詳細については、参加申込者に対して約 1 週間前までにメールでご連絡します。</p>

### (3)参加費：

- 1 人 20,000 円(消費税込み)
- 2 日で 1 セットです。

## 土づくり実践研修会（初級・中級レベル、中級・上級レベル）

- ◆土づくりに関する実践研修会は、土壌診断法や処方箋作成の実践力の向上を目的とした研修会です。研修会は内容のレベルにより2種類あり、自己のレベルに応じて選べます。土壌医資格登録者はもとよりどなたでも参加できます。

### 特色

#### 1 土づくりによる作物生育改善等の実践に関する講義（初級、中級レベル）

- ◆今年度は、生物性について「主な有機質肥料の種類(連用)と作物収量、品質向上効果や土壌微生物層の相違」を内容として行います。(土浦会場では試験圃場の見学会も実施)
- ◆主な作物で pH、EC の相違と生育、発芽障害等について、実験結果の写真を基に講義を行います。

#### 2 土壌調査方法に関する演習（初級、中級レベル）

- ◆今年度は新たに土壌団粒の測定方法の演習を行います。
- ◆土性の簡易判定法の演習を行います。



(写真) 昨年度の土性判定演習の実施状況（各自に実際に判定していただきます。）

- ◆土壌断面の見方と土壌硬度等の測定法の演習を現地圃場で行います。

#### 3 土壌医の土づくり業績の発表と総合討議（中級、上級レベル）

- ◆土壌医の実施した優れた土づくりの成果について、改善に至ったプロセスや留意点等について発表していただき、これらの発表結果を基に総合討議を行います。

#### 4 事例研究（作物生育等不良要因事例の要因と処方箋作成演習） （初級、中級レベル）（中級、上級レベル）

- ◆現地で発生した事例に基づき生育不良等の要因とそれに対する処方箋についてグループ討議でまとめます。その結果をグループごとに発表し、総合討議を行います。

## 初級・中級レベル土づくりに関する実践研修会の日程、内容

- ◆研修会は、土壌診断等に基づく処方箋作成能力の向上など実践力の向上に重点を置いて行います。
- ◆現地で土壌調査や測定を行う場合の基礎となる土壌団粒、土性、土壌硬度等について、その調査、測定方法について実地演習を行います。
- ◆参加者の今後の人脈形成や情報交流などに役立つよう、研修初日の夕方に情報交流会を行います。(希望者)

### (1) 会場と日程

地区	日 程	会 場	定員 (名)	備 考
土浦	11月30日(土) 13:00~16:50 12月1日(日) 9:30~16:50	片倉コープアグリ(株) 筑波総合研究所 (茨城県土浦市並木五丁目5511)	40	JR 土浦駅から会場までは送迎バスを用意します。
平塚	令和2年 3月5日(木) 13:00~16:50 3月6日(金) 9:30~16:50	全農 営農・技術 センター (神奈川県平塚市東八幡4-18-1)	50	JR 平塚駅から会場までは朝、夕は本数多くバスがあります。(乗車時間約20分)

\*土浦会場は片倉コープアグリ土壌医の会との共催です。

### (2) 研修基本カリキュラム

- ◆以下のカリキュラムについて1日半にわたって行います。

主 な 内 容	備 考
土壌診断実践力向上に関する講義 ◆土壌化学性、物理性改善に関して活動成果を上げる診断の進め方や留意点 ◆生物性については、「主な有機質肥料の種類(連用)と作物収量、品質や土壌微生物性の相違」 調査、測定法に関する演習 ◆土壌団粒の測定方法(実験室等) ◆土性の判定方法(実験室等) ◆土壌断面の見方、土壌硬度等測定(現地圃場) 土壌診断による生育改善の事例研究(グループ討議(班別)) ◆班別の検討 ◆検討結果の発表 ◆コーディネーターの進行による総合討議	講義内容の順番は前後する場合があります。  2日間の時間割等詳細については、参加申込者に対して約1週間前までにメールでご連絡します。

### (3) 参加費：

- 1人 15,000円(消費税込み)(情報交流会の参加費用は含みません。)
- 2日で1セットです。

## 中級・上級レベル土づくりに関する実践研修会の日程、内容

- ◆研修会は、中上級レベルの土壌診断等に基づく処方箋作成能力の向上など実践力向上に重点を置いて行います。
- ◆土壌医による優れた土づくりの業績や作物生育等不良要因事例を基に改善手法等の研究討議を行うとともに、情報交換をします。
- ◆参加者の今後の人脈形成や情報交流などに役立つよう研修初日の夕方に情報交流会を行います。(希望者)

### (1)会場と日程

地区	日 程	会 場 名	定員(名)
東京	12月9日(月) 13:00~16:50 12月10日(火) 9:30~16:50	連合会館 (東京都千代田区神田 駿河台3-2-11)	50

### (2)研修基本カリキュラム

- ◆以下のカリキュラムについて1日半にわたって行います。

内 容	備 考
土壌診断等による作物生育改善などの成果発表(土壌医数名) ◆土壌医の優れた業績について生育改善等に至ったプロセスや留意点などを発表 成果の発表を基に総合討議 ◆コーディネーターの進行の下で総合討議と情報交換 土壌診断による生育改善等の事例研究(グループ討議(班別)) ◆班別の検討 ◆検討結果の発表 ◆コーディネーターの進行による総合討議	講義内容の順番は前後する場合があります。  2日間の時間割等詳細については、参加申込者に対して約1週間前までにメールでご連絡します。

### (3)参加費：

- 1人 15,000円(消費税込み)(情報交流会の参加費用は含みません。)  
2日で1セットです。

## 出前研修会

- ◆企業、全農県本部、経済連、農協、都道府県等で一定以上の受講者が確保できる場合には出前研修を行います。

また、受験者対象の研修会のみでなく、土づくりに関する実践研修会についても出前研修を行います。

(実施計画がありましたら、予め土壌協会(電話 03-3292-7281)にご相談下さい。)

これらの各種研修会は、土壌医資格登録の継続研鑽(CPD)の単位付与の対象になります。(土壌協会主催のものはCPD申請の必要はありません。)

## 土壌医検定に関する研修会の申込みと締切

### (1) 申込み

土壌協会ホームページから専用フォームでお申し込み下さい。

### (2) 締切り

- 1) 各会場とも開催の原則 1 週間前でもって締め切りと致します。
- 2) 但し、定員に達し次第、締切りと致します。

なお、受講希望者が万一 20 名に達しない会場があった場合には、研修会を開催しない場合があります。(その場合は前もってご連絡いたします。)